



2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月12日

上場会社名 株式会社ジー・スリーホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3647 URL <https://www.g3holdings.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 浩
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 山之内 督宗 TEL 03-5781-2522
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績（2023年9月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	123	△87.5	△171	-	△178	-	△176	-
2023年8月期第2四半期	987	8.1	△121	-	△128	-	△130	-

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 △176百万円 (-%) 2023年8月期第2四半期 △130百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年8月期第2四半期	円 銭 △10.48	円 銭 -
2023年8月期第2四半期	円 銭 △7.74	円 銭 -

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	2,131	1,569	1,569	1,531	73.6
2023年8月期	2,140	1,531	1,531	1,531	71.6

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 1,569百万円 2023年8月期 1,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年8月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年8月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -
2024年8月期（予想）	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

2024年8月期の連結業績予想につきましては、現時点では合理的な算定が困難であるため記載をしておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。なお、詳細は添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期2Q	19,327,720株	2023年8月期	17,860,720株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	1,019,631株	2023年8月期	1,019,071株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期2Q	16,849,508株	2023年8月期2Q	16,843,370株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年9月1日～2024年2月29日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善しつつも、個人消費においては足踏みの状況がみられました。また世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、ウクライナ及び中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響から依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主要事業とする再生可能エネルギー業界におきましては、第28回気候変動枠組条約締約国会議（COP28）において、COP26で採択されたパリ協定の目標をさらに強化する採択がなされたことにより、気候変動対策の加速を図るものとなり、今後も国内を始め世界的にも再生可能エネルギー市場は順調に拡大していくものと期待されています。

そのような環境のなか、当社グループは事業を通じ「ヒトと社会の持続的な豊かさと幸福に貢献」するため、

- （i）稼働中の太陽光発電所の仕入販売
- （ii）太陽光発電所の運営による売電
- （iii）太陽電池モジュール等の発電関連商材の仕入販売
- （iv）太陽光発電所及び小水力発電所の運営管理業務の受託
- （v）非常用ガスエンジン発電機及びマグネシウム電池の開発
- （vi）健康食品及び基礎化粧品の仕入販売
- （vii）感染予防のための消毒用噴霧器のOEM供給

上記事業について継続的に推進し発展させると共に、新たな事業領域の開拓に果敢にチャレンジし、収益基盤の強化を図っております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は123百万円（前年同期比87.5%減）と減収となりました。その主な要因は、前第2四半期連結累計期間では、前々期に売上計上予定であった太陽光パネルの販売がずれ込み、前第2四半期連結累計期間に売上が計上された一方で、当第2四半期連結累計期間では、販売用不動産として保有している太陽光発電所が未だ販売に至らず売上が計上されなかったためであります。損益の状況においては、特設注意市場銘柄の解除により販売費及び一般管理費の圧縮を実現したものの、販売用不動産が販売に至っていないことに加え、サステナブル事業における健康食品及び基礎化粧品等の販売数量が減少したこと等から、連結営業損失は171百万円（前年同期は121百万円の損失）、経常損失は178百万円（前年同期は128百万円の損失）と、営業損益、経常損益ともに損失を計上することとなり、親会社株主に帰属する四半期純損失は176百万円（前年同期は130百万円の損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント毎の経営成績は以下のとおりです。

（再生可能エネルギー事業）

再生可能エネルギー事業は、太陽光発電所の販売活動を継続しつつ、同発電所の売電収入などにより、売上高は59百万円（前年同期比92.7%減）、セグメント損失（営業損失）は28百万円（前年同期は10百万円の利益）となりました。

（新規エネルギー事業）

新規エネルギー事業は、主に非常用ガス発電機やマグネシウム電池等の商品化に向けた開発活動及び新規事業化に向けたシーズの探索を主に行いました。当第2四半期連結累計期間において、引き続き費用が先行し、セグメント損失（営業損失）は4百万円（前年同期は7百万円の損失）となりました。

（サステナブル事業）

サステナブル事業は、基礎化粧品及び健康食品の仕入販売、感染予防のための消毒機器のOEM供給事業などにより、売上高は63百万円（前年同期比62.1%減）、セグメント利益（営業利益）は31百万円（前年同期比37.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,131百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、総負債は561百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円減少しました。

内訳は以下のとおりであります。

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して1百万円増加し、1,873百万円となりました。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比較して10百万円減少し、257百万円となりました。その主な要因は、のれんが5百万円、機械装置及び運搬具が4百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して17百万円減少し、104百万円となりました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が14百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比較して29百万円減少し、457百万円となりました。その主な要因は、長期設備関係未払金が17百万円、長期借入金が11百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して37百万円増加し、1,569百万円となりました。その主な要因は、資本金が106百万円、資本剰余金が106百万円増加し、利益剰余金が176百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、362百万円（前年同期比71.5%減）となりました。また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果使用した資金は29百万円（前年同期は166百万円の獲得）となりました。その主な要因は、未払又は未収消費税等の増減額110百万円、減価償却費68百万円の計上等による増加要因と、税金等調整前四半期純損失176百万円の計上、前渡金の増加額66百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は0百万円（前年同期は127百万円の使用）となりました。その主な要因は、定期預金の預入による支出0百万円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は170百万円（前年同期は66百万円の使用）となりました。その主な要因は、株式の発行による収入211百万円等の増加要因と、長期借入金の返済による支出25百万円、及び割賦債務の返済による支出17百万円等の減少要因によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期におきましては、当初前期に売却を予定していた太陽光発電所3物件の売却による売上の計上が見込まれております。また、発電所の自社保有化によるストック型のビジネスモデルを念頭に営農型太陽光発電所の開発・仕入・販売活動を積極的に事業展開していくほか、再生可能エネルギーを利用した新規事業分野の開拓について国内外での事業展開を計画しております。また、サステナブル事業における健康食品並びに基礎化粧品の販売事業も引き続き当社グループの収益に貢献するべく、新たな販路の拡大、新商品開発、新商材取り扱いを含めた事業の再構築を進めてまいります。

これらの状況を踏まえ、2024年8月期の通期業績見通しといたしましては、新規事業展開における影響額について現時点では合理的に算定することが困難であります。当該連結業績予想については、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	225,705	366,494
売掛金	46,944	29,922
商品	27,976	9,228
販売用不動産	1,437,008	1,374,120
前渡金	—	66,696
未収入金	—	403
未収還付法人税等	12,018	0
未収消費税等	109,132	307
その他	13,439	26,860
貸倒引当金	△889	△889
流動資産合計	1,871,335	1,873,143
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	112,915	108,510
その他	92,671	91,673
有形固定資産合計	205,586	200,183
無形固定資産		
のれん	26,535	21,228
その他	417	368
無形固定資産合計	26,952	21,597
投資その他の資産		
出資金	250	100
敷金及び保証金	35,983	35,983
投資その他の資産合計	36,233	36,083
固定資産合計	268,772	257,863
資産合計	2,140,107	2,131,007

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,116	396
1年内返済予定の長期借入金	38,733	24,555
未払金	6,673	10,648
前受金	110	—
未払法人税等	8,117	7,389
設備関係未払金	34,884	35,413
賞与引当金	5,800	4,560
その他	20,654	21,548
流動負債合計	122,089	104,511
固定負債		
長期借入金	53,278	42,148
長期設備関係未払金	413,221	395,381
長期前受収益	5,920	5,716
資産除去債務	11,559	11,594
関係会社事業損失引当金	72	72
その他	2,100	2,100
固定負債合計	486,152	457,013
負債合計	608,241	561,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,062,957	1,169,938
資本剰余金	672,222	779,200
利益剰余金	24,011	△152,628
自己株式	△227,325	△227,404
株主資本合計	1,531,865	1,569,106
新株予約権	—	375
純資産合計	1,531,865	1,569,482
負債純資産合計	2,140,107	2,131,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	987,656	123,124
売上原価	839,560	103,147
売上総利益	148,095	19,977
販売費及び一般管理費	269,395	191,290
営業損失(△)	△121,299	△171,313
営業外収益		
受取利息	7	1
償却債権取立益	150	30
未払配当金除斥益	710	—
還付加算金	295	—
その他	15	192
営業外収益合計	1,177	224
営業外費用		
支払利息	7,987	6,960
支払手数料	67	0
その他	2	122
営業外費用合計	8,056	7,083
経常損失(△)	△128,178	△178,172
特別利益		
受取保険金	—	2,148
特別利益合計	—	2,148
特別損失		
是正工事費用	1,470	—
特別損失合計	1,470	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△129,648	△176,024
法人税等	688	615
四半期純損失(△)	△130,336	△176,639
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△130,336	△176,639

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純損失(△)	△130,336	△176,639
四半期包括利益	△130,336	△176,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△130,336	△176,639
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△129,648	△176,024
減価償却費	23,359	68,759
のれん償却額	52,742	5,307
是正工事費用	1,470	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,400	△1,240
受取保険金	—	△2,148
受取利息	△7	△1
支払利息	7,987	6,960
支払手数料	67	—
売上債権の増減額(△は増加)	196,056	17,021
棚卸資産の増減額(△は増加)	△37,136	18,748
前払費用の増減額(△は増加)	△3,471	△13,351
未収入金の増減額(△は増加)	2,791	△403
前渡金の増減額(△は増加)	134,643	△66,696
仮払金の増減額(△は増加)	△867	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△992	△6,720
未払金の増減額(△は減少)	499	3,974
前受金の増減額(△は減少)	△83,299	△110
未払又は未収消費税等の増減額	33,358	110,440
その他	△2,649	460
小計	193,503	△35,023
利息の受取額	7	1
利息の支払額	△7,829	△6,960
是正工事費用の支払額	△14,740	—
法人税等の支払額	△10,003	△1,360
法人税等の還付額	5,799	12,097
保険金の受取額	—	2,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	166,737	△29,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600	△600
出資金の回収による収入	—	150
有形固定資産の取得による支出	△126,500	△420
その他	100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,000	△870
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△49,769	△25,308
割賦債務の返済による支出	△16,797	△17,310
株式の発行による収入	—	211,248
新株予約権の発行による収入	—	1,607
配当金の支払額	△1	△0
自己株式の処分による収入	—	9
自己株式の取得による支出	△280	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66,847	170,154
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△27,110	140,188
現金及び現金同等物の期首残高	1,300,218	222,805
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,273,107	362,994

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金が106,980千円、資本剰余金が106,980千円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が1,169,938千円、資本剰余金が779,200千円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じております。

但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生可能 エネルギー 事業	新規エネルギー 事業	サステナブル 事業			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	819,938	—	167,717	987,656	—	987,656
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	819,938	—	167,717	987,656	—	987,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	819,938	—	167,717	987,656	—	987,656
セグメント利益又は損失 (△)	10,869	△7,040	50,689	54,518	△175,818	△121,299

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△175,818千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間（自 2023年9月1日 至 2024年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生可能 エネルギー 事業	新規エネルギー 事業	サステナブル 事業			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	59,626	—	63,497	123,124	—	123,124
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	59,626	—	63,497	123,124	—	123,124
セグメント間の内 部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	59,626	—	63,497	123,124	—	123,124
セグメント利益又は損失 (△)	△28,992	△4,802	31,814	△1,980	△169,333	△171,313

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△169,333千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。